

「足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて（案）
～次世代へつなぐ適正規模・適正配置のガイドライン～」
に関するパブリックコメントの実施結果及び意見に対する区の考え方について

1 実施期間

令和 7 年 6 月 2 日（月）から令和 7 年 7 月 1 日（火）まで

2 意見提出数

3 2 3 件（1 4 9 名）

3 意見の構成

内 容	件 数
第 1 章 適正規模・適正配置に向けたこれまでの取り組み	0 件
第 2 章 適正規模の考え方	7 0 件
第 3 章 適正配置の考え方	9 7 件
第 4 章 足立区の状況	0 件
第 5 章 施設更新に関する方針	7 件
第 6 章 適正規模・適正配置の実現に向けた今後の取り組み	1 2 3 件
ガイドライン全体に関すること	1 件
その他	2 5 件
合 計	3 2 3 件

4 意見に対する区の考え方

P 2 ～ 6 に記載のとおり

「足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて（案）
～次世代へつなぐ適正規模・適正配置のガイドライン～」に対する区民等の意見の概要と区の考え方

いただいた意見を分類・要点整理しています。意見の全文はP 7～「全文一覧」に掲載しています。

No	意見の概要	区の考え方
第2章 適正規模の考え方		
1	小規模校や少人数学級にはそれぞれ良さがある。教員の目がよく行き届き、いじめや不登校の問題に丁寧に取り組めたり、全教員が全児童・生徒の名前と顔を覚え、子どもに安心感と信頼感を生んだりすることができる。大規模になると校庭が狭くなったり等デメリットがあり、そのような環境の中で子どもが学ぶことはよくない。	一人ひとりに目が行き届きやすいことは小規模校のメリットではありますが、区では児童生徒が適正な規模の集団の中で様々な人と関わり、多様な経験を積む機会を増やすことがより重要であり、社会性の育成や人間力の向上に結びつくと考えております。
	【全文一覧参照番号】 5, 6, 8, 11, 14, 15, 17, 18, 20, 21, 23, 24, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 36, 38, 40, 41, 43, 45, 49, 52, 53, 54, 56, 59, 62, 64, 65, 68, 69, 72, 74, 76, 77, 82, 83, 84, 87, 90, 93, 94, 95, 97, 109, 110, 111, 112, 113, 114, 115, 116, 118, 120, 121, 123, 125, 133, 134, 138, 139, 142, 143, 144, 148, 149	

No	意見の概要	区の考え方
第3章 適正配置の考え方		
2	統廃合することによって、通学の距離が遠くなり、交通事故の危険性が高まることや寄り道、熱中症の問題が起こると考えられる。	今よりも通学距離が長くなり、一部の児童・生徒に負担が増すことは認識しておりますが、区が示す通学距離や通学時間については、他区と比べて決して長いものではありません。 なお、交通安全対策としては通学路の合同点検や学童擁護員による通学時の見守りなど、子どもの安全を守るようリスク回避対策をはかってまいります。
【全文一覧参照番号】 3, 4, 5, 6, 8, 11, 12, 14, 20, 26, 27, 31, 37, 41, 42, 44, 45, 46, 52, 53, 54, 56, 57, 61, 62, 64, 67, 69, 70, 72, 78, 84, 87, 88, 89, 90, 91, 93, 113, 117, 119, 126, 128, 129, 133, 134, 138, 142, 146, 147		
3	防災の視点から考えた場合、地域の避難所がなくなることにより、避難が困難になる。	統合の方針が確定した際には、町会・自治会の区域、避難所の収容人数などを考慮し、町会・自治会の皆さんと避難所の再編を協議してまいります。
【全文一覧参照番号】 8, 12, 13, 16, 21, 26, 36, 37, 38, 40, 44, 46, 48, 50, 52, 53, 57, 60, 64, 74, 75, 77, 79, 80, 87, 89, 90, 93, 96, 98, 102, 104, 108, 109, 117, 122, 124, 125, 126, 128, 131, 133, 134, 142, 143, 147, 149		

No	意見の概要	区の考え方
第5章 施設更新に関する方針		
4	学校の統廃合ではなく、古くなった学校はそれぞれ施設更新をすれば良いと思う。 【全文一覧参照番号】 11, 64, 70, 95, 125, 143, 148	学校の統合を含む適正規模・適正配置事業の目的は、施設更新することではなく、子どもの教育環境を向上させることです。 今後も小規模校単体ではなく対象地区全体で、学校規模や施設更新の状況を踏まえながら、適正規模・適正配置に取り組んでいきます。
第6章 適正規模・適正配置の実現に向けた今後の取り組み		
5	小規模校の統合を希望する。統合は仕方ない。 【全文一覧参照番号】 1, 6, 16, 89	今後も子どもの教育環境の向上のため、学校関係者や地域のご意見を伺いながら適正規模・適正配置事業に着実に取り組んでいきます。
6	地域や子どもたちのためになるように、統廃合の検討をしてほしい。 【全文一覧参照番号】 5, 147	パブリックコメントのご意見を踏まえて、ガイドライン完成後、各取り組むエリアごとに個別実施計画（案）を策定して、学校関係者や地域のご意見を伺いながらご理解いただけるよう丁寧に進めてまいります。

No	意見の概要	区の考え方
7	学校の統廃合をしないでほしい。 【全文一覧参照番号】 2, 8, 11, 12, 14, 15, 17, 21, 24, 25, 26, 27, 29, 31, 32, 33, 34, 35, 37, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 50, 51, 52, 53, 55, 56, 58, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 71, 72, 73, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 85, 86, 87, 90, 91, 92, 93, 95, 96, 98, 99, 100, 101, 102, 104, 105, 107, 108, 109, 112, 115, 116, 118, 119, 120, 121, 122, 123, 124, 125, 126, 128, 130, 131, 132, 133, 134, 135, 136, 137, 138, 139, 142, 143, 144, 145, 146, 148	学校の適正規模・適正配置事業につきましては、子どもの教育環境の向上を見据えて取り組んでおり、ただ単に「学校数を減らす」ことを目的とはしていません。 今後も学校関係者や地域のご意見を伺いながら適正規模・適正配置事業に着実に取り組んでいきます。
8	もっと区民に寄り添い、丁寧な説明などを通じて、各地域の方や子どもたちの声を聞いてほしい。 【全文一覧参照番号】 5, 18, 30, 41, 47, 50, 83, 87, 89, 103, 106, 118, 130, 147, 149	地域のご意見については、対象地区の町会・自治会連合会会長や学校長、開かれた学校づくり協議会会長に個別説明した後、町会・自治会連合会の全体会議や各学校の開かれた学校づくり協議会に伺い、丁寧にご説明しています。 子どもたちの声については、全体の考え方や方針を示すガイドラインではなく、個別の新たな校名や校章などを検討する際に丁寧に伺い、その意見やアイデアを活かしてまいります。

No	意見の概要	区の考え方
ガイドライン全体に関すること		
9	ガイドラインには、防災の視点が全く含まれておらず、学校の適正規模・適正配置の検討の際に、副次的に加えるべきだと思う。 【全文一覧参照番号】 13	ガイドラインは子どもの教育環境を向上させる視点で、学校の適正規模・適正配置の基準や取り組むエリア等をまとめており、統合の場合は結果的に学校数が減る可能性も示しています。防災の視点は重要な要素ですが、その視点で学校を捉えると「避難所としての学校は減らさない」ことになり、本ガイドラインとは矛盾が生じてしまうため、副次的であっても防災の視点は加えておりません。 なお、統合後の新校建築の際には、学校や地域関係者のご意見を伺いながら、避難所機能の強化を検討していきます。
その他		
10	直接的に本ガイドライン（案）に関係しないご意見、ご要望（区全体に関わる方針、学校選択制、教職員、空き教室の利用ほか 25 件） 【全文一覧参照番号】 1, 7, 9, 10, 14, 16, 17, 18, 19, 21, 22, 36, 50, 86, 91, 95, 115, 127, 129, 130, 132, 140, 141, 142, 149	いただいたご意見につきましては、関係部署・関係機関へ共有させていただきます。

「足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて（案）
～次世代へつなぐ適正規模・適正配置のガイドライン～」に対する区民等の意見（全文一覧）

いただいたご意見のうち、全文公表を希望しない方の意見を除く意見の全文を「受付順」に掲載しています。

なお、個人を識別できたり、第三者の権利利益を損ねるおそれのある情報は、全部・一部を削除又は概要のみを掲載しています

No	いただいた意見
1	子どもの減少、先生の不足から小規模校の廃校、合併を希望します。小規模校の修繕や維持に多額の税金を使うのではなく、中～大規模校に税金を使ってほしいです。足立区にはすでに不登校などの支援の確立はされています。小規模校の魅力があるのはわかりますが、この先将来小規模校に維持費を使うのは将来性がないと思います。その分中～大規模改修に投資し、高クオリティで維持する。教員数も数校に集中するため、空き時間の確保、休暇の取得推進も可能。子どもも先生も増えないのに小規模校を近隣地域内に複数保有するのは財源がない。 インフラにまわしてほしい。よって私は小規模校の閉校、合併を望みます。
2	竹の塚中卒業生です。学区は淵江中でしたが、タイミング的に赤学年だったし、熱いのが嫌で兄と同じく竹の塚中に行きました。自分みたいな人のために、竹の塚中を残してほしいです。
3	今年度、小学校に入学した娘がいます。校長先生や先生方や環境がよく、学校を毎日楽しみにしています。小学校の統廃合の話聞き、かなりショックでした。小さな小学生の足で長い距離を歩くのはかなり大変だと思います。生徒の負担にもなるかと思います。高学年のお子さんは慣れ親しんだ環境の変化に戸惑いは出ないでしょうか。どうか、子どもたちにとって良い選択とは何か、今一度考えてほしいです。
4	足立区内としては通学区域が広い地域。これを統廃合するには、児童生徒の通学時間の延長と通学距離の拡大、それに伴う交通事故や熱中症の危機が増すと思います。財政の効率化は必要ですが、子どもたちの命と学びがその犠牲になってはいけないと思います。
5	花畑地域・竹の塚西地域・大谷田地域の小中学校について、学校統廃合の計画が進められているという情報を耳にしました。これまでの区内の他地域での統廃合の実態を目にしてきて多くの問題点のあることを知りました。教育の問題、子どもたちの問題について考える時、何より大切にしなければいけないのは、子どもたちの幸せです。遠くから通うことになった低学年の子どもたちは登校するに当たりいろいろな困難に直面します。少人数学級で先生の目がよく行き届いていたのに、クラスの人数が多くなり、交友関係や学習環境に支障をきたしている子どももいます。 これらはほんの一例ですが、ほんの数年間のことだからと言って子どもたちに我慢や忍耐を強いるのは大きな誤りです。

No	いただいた意見
	その数年間こそが子どもの発達、成長にとってかけがえのない大事な時だということを認識すべきです。大人の都合や勝手に子どもたちの教育環境を悪化させることは断じて許されません。 地域で、学校で、本当に子どもたちの幸せを中心に考えて統廃合の是非を決めていただくことを切に希望します。
6	中学校説明会に出席し、統合の計画を知りました。直ぐに統合する訳では無いとお話されていましたが、適正な規模、人数というものに疑問があります。学校(規模や人数増)が大きくなればなるほど先生方の苦労や子どもたちに向けられる目というものが疎かになり、色々な問題(虐めを見つけにくい、学力の差が出てくるなど)の懸念が拭い切れません。その他に通学路などの問題も出てくると思います。(徒歩15分くらいまでだったのが統合されると20分～25分かかる等)それによって、登校渋り(遅刻)や寄り道などの問題も出てくるのでは?と思います。 子どものコミュニケーション能力が他の子より低い等の問題で大人数の中に入っていけない等の問題もあると思います。様々な理由があり、通学圏内の小規模校に通わせたいと思っている保護者や子どもたちが居ることも念頭にお話が進むことを望みます。 本当に2～3年後は子どもが少なく1クラス10人とかになってから統合するという形でも良いと思います。
7	足立区で幼稚園を運営しています。私共の園は、子どもの発達に適した教育に長年取り組み、その中で多くの子どもたちが学ぶ楽しさを知り、優秀な児童として成長していく姿を見てきました。 しかし、現在の足立区には、こうした子どもたちの学びを継続的に発展させる受け皿となる私立小学校がありません。現在、足立区には私立小学校が1校も存在せず、近隣自治体と比較しても教育環境の選択肢が限られています。例えば、松戸市、市川市、流山市などの千葉県内の自治体では複数の私立小学校が設置されており、教育の多様性が確保されています。さらに、東京都内に目を向けても、葛飾区、荒川区、墨田区などの東京東部には私立小学校が少なく、都心や杉並区、世田谷区、大田区など東京西部・南部に偏在している状況です。 このような偏在の結果、足立区の住民が私立小学校に通うためには片道1時間、往復2時間をかけて通学する必要があり、児童にとって大きな負担となっています。通学時間の長さは、学習時間や家庭での生活時間の減少につながり、子どもの健全な成長に影響を及ぼす可能性があります。その懸念から、小学校進学を機に足立区から転居してしまう家庭を毎年見てきました。 私立小学校の存在意義は、教育の選択肢を広げることにあります。教育熱心な家庭にとって、特色ある教育を提供する私立小学校は魅力的な選択肢となり、学力の高い児童を育てる環境を整えることができます。足立区に私立小学校が誘致されれば、足立区の私立幼稚園で育った子どもたちが、質の高い教育を受け続けることができる有力な選択肢となります。 また、幼稚園・保育園と小学校が一体的に連携することで、幼児期から継続的な教育が提供され、人間形成の基礎を盤石なものとするこ

No	いただいた意見
	とができます。これは全国的に見ても先進的な取り組みとなるはずです。 東京東部の価値が再評価されている今、私立小学校を誘致することで、家庭の選択肢を広げ、足立区の魅力向上につながると考えられます。このような観点から、足立区に私立小学校を誘致し、地域全体の教育環境を充実させることを強く要望します。
8	①学校統廃合をしないでください。 ②小さい学校をつぶして学校規模を大きくしていくことは、いじめや不登校に丁寧に取り組むことを困難にしたいと思います。 ③統廃合することによって、通学路の距離が遠くなり、交通事故の危険が高まります。特に低学年は重いランドセルを背負って遠距離を歩いて行く姿を想像するだけで胸が痛みます。 ④防災の関係から考えても地域の避難所がなくなることになり、老人や障がい者の方の避難が困難になります。
9	小学生の子どもを持つ保護者の意見 ・私は足立区在住の保護者で、現在、息子を区立小学校に通わせています。これまで、学校公開や近隣の小学校を見学しましたが、学校選択制とはいえ、違いは施設や立地程度で、授業や指導方針はほぼ同じような内容という状況に、改善の余地を感じています。 ・アメリカでは、公立小学校でも地域や民間に運営を任せ、特色ある教育を提供する「マグネツトスクール」が存在し、学区を越えてそのカリキュラムに魅力を感じた家庭が集まる仕組みになっています。日本においても、こうした選択肢の拡充が必要だと考えます。 ・公立小学校で大胆な改革が難しいのであれば、足立区に私立小学校を誘致することが有効です。質の高い教育を求める家庭にとって選択肢が増え、地域全体の教育水準が向上すると期待されます。ぜひ、私立小学校の誘致を検討してください。
10	足立区在住、小学生児童と幼稚園児の子を持つ保護者です。 現在、長男は新ガイドラインで統合検討対象となっている区立小学校に通っており、次男は進学先を検討しております。長男から学校の話を知ると、学習内容・環境にやはり物足りなさを感じますし、何より本人自身もそれを感じています。私も保護者として、我が子にはより良い教育環境に身を置かせたいと考えており、私立小学校への進学も選択肢の一つと考えています。 しかし、足立区には私立小学校がなく、隣接する区にもほぼ選択肢がありません。東京西部や南部では多くの私立小学校があり、特色のある教育環境を提供していますが、それらの学校へ足立区から通うには片道1時間以上かかる上に、電車は大変混雑しており、子どもにとって、とても大きな負担です。 これでは、教育熱心な家庭にとって、足立区は住み続けることが難しくなる状況が生まれていると思います。私立小学校が足立区内の駅近くに設立されることで、家庭の選択肢が広がり、地域の魅力も向上すると考えます。是非、私立小学校の誘致を検討していただきたいで

No	いただいた意見
	す。よろしくお願いいたします。
11	学校の統廃合はしないでください。学校統廃合は経済効果優先の子どもや教育を大切にしない政策だと思います。校舎が古くなればそこを直したり、そこに建てればいいのではないですか。統廃合したためにマンモス校になりプレハブを建てたという話も聞きます。校庭も狭くなったことでしょう。そんな中で子どもが学ぶっていいことではないでしょう。どう考えますか。平気なんですか。 新しい学校に通うために40分も50分も歩かなければならなくなったという話も聞きます。今、交通事情も悪化しています。また、炎天下であることも予想されます。熱中症の危険が高まります。今やることは子どもの為に一学級の人数を減らしたり、詰め込み教育をしないことだと思います。子どものびのび、親も先生もにこにこいきいきです。絶対に統廃合をしないでください。
12	学校統合しないでください。 通学距離が遠くなると交通事故の危険が高まるし、少子化だからと言って統合してしまうと避難所がなくなり災害の際も困ると思います。
13	(全文公表を希望しない)
14	私の家は花中と花畑第一小学校のそばに住んでいます。 小学も中学校も小規模にあたるそうですが、小規模の基準がおかしいのではないかな？ 私は小さな学校でも豊かに教育が出来、むしろ賛成です。子どもが遠くから歩いて通う様な事にならない様、小規模学校をつづけてもらいたい。教室もあまったら、地域住民が使えるような室もほしいです。町会会館など持てない町会が多く、町会の備蓄品など、前通り公園にしている現実があります。空室に町会会館など作り、地域一帯に子どもの教育を守っていく方向にして行ってほしいです。これから防災など不安がいっぱいあります。地域住民が子ども、年寄りも含めて安心して暮らせる学校中心の地域にしてほしいです。 簡単に統廃合校には、賛成しません。
15	足立区で生まれ、保木間、花畑、竹の塚と移り住んできました。子どもの頃からずっとかかわり育てられてきた湊江中、竹の塚中がなくなると聞き、とんでもない！我が子たちもお世話になってきた学校です。児童数が減ってきたということで統廃合しないでください。花畑第一小、花畑西小、花畑中と私が、教員として大勢の子たちが巣立っていきました。一人一人に目や手の行き届いた教育、心をゆっくり丁寧に育てる教育をしないと、長年努力してきました。一人一人を一人の人間としてしっかり育てるには、大規模校にしたのでは、現在かかえる教育問題を解決することにはなりません。児童・生徒一人一人をしっかり育てる温かい教育をしたいと思う現場の教員の思いとは、全

No	いただいた意見
	く逆向することになります。平気で人間の命を殺すような社会問題を増長することになります。一人一人の良さを見つけ、生きる喜びを見つけられる教育、互いの命を大切にし、自分の命を大切に生きる教育をするには大規模校ではなく、小規模校でも教員を増やし一人一人に手の届く教育にしてください。 教育にお金をかける区の方が、よりよい教育ができます。人間を育てるのは、機械ではなく人間なのです。小規模校も大切にしてください。
16	加速する少子化で、小中学校の統廃合は避けられない問題であると思いますが、この学校だから通える、通いたいと意思を持って選択した児童・生徒の事を最大限配慮していただきたいと思います。身体的に（歩行困難であったり）又、体力的にこの距離だから通学できる、という子どもが少なくともいると思うので、6年間、3年間通うことを前提に選んでいると思うので。在学している児童・生徒の実態の把握など慎重に計画してください。又、高齢者が利用できる区のコミュニティ施設と合体させるなどして子どもたちと地域の方の交流ができる新しい形の学校ができてもいいのではないかと思います。他の自治体でそういった取組みがあるのでは？と。お金をかけて建て替えるのであれば、区民全体に還元される学校（施設）を新設することを強く希望します。 学校は避難所としての役割もあるので、災害対策施設をかねて地域に残すことが大事だと思います。
17	私は足立区内の中学校に1973年～2007年まで勤めていました。1973年最初に勤務したのは十四中で当時、東京一のマンモス校でした。翌々年には、全校40学級で職員室もふたつありました。この年、一年生を担当していましたが、1年14組担任でした。学年会をやってもクラスのようにすきいても、クラスが多すぎてよくわかりません。遠足に行っても1号車がついてから、このクラスの生徒は15組が到着するまで待つてから次の行動です。 大きすぎるのは良いことではありません。50年たった今、今度は小さすぎるから、統廃合というのですか。適正規模とは何でしょうか？生徒と教師が身近になる。小規模の方が良いに決まっています。友たちが少なくなるからというのなら、1対1は良くないでしょう。でも、人間2人以上いればかかわりもできるし、お互いのことをよく知ることができます。小規模の方が教師の負担（対生徒という点で）も少なくても済みます。 足立区は、大規模校を解消するため、どんどん新設校をつくってきたという歴史があります。学校を減らしていくなんて、行政の仕事ではありません。
18	西新井小学校の図書ボランティア（読み語り、読み聞かせ）を続けて丸8年になります。8年間ずっと1～6年まで3クラスで朝読書15分間どのクラスも落ち着いて本の世界を楽しんでくれています。全3クラスで1クラス32人くらいの人数が1番安定しているように思

No	いただいた意見
	えます。クラスサイズを30人にして計算することが、子どもが主人公で大事なことだと思います。「小規模」ということは悪いことではありません。 また、地域の学校ということで、西新井小学校の交通ボランティアにも町会交通部の方々が、ご高齢にもかかわらず、献身的に活動され、理想的だなと思っています。年配者からも”地域の学校”として愛され続けている西新井小学校は、私も西新井本町に住み続けて46年、誇りです。足立区内どの学校でも地域と学校の絆が結ばれてほしいです。 統廃合を考える前に、各地域の声をもっと聞いてほしいです。地域で生きる子どもたちを私たちが守り育てるため、統廃合ではなく、地域の学校への協力づくりを考えていきたいです。
19	竹の塚中学校と淵江中学校の統合について。私は竹の塚中学校でもPTA活動をしています。西保木間小学校もそうでしたが、竹の塚中学校では子どものいじめの話聞いたことがありません。深刻なトラブルも聞いたことがありません。一番近い西保木間小学校からではなく、他の小学校からも子どもたちやって来ます。他の中学校からいろんな事情を抱えた生徒さんが転校してくることも多いです。大切な受け皿になっていると思うのです。教師も保護者も子どもたちも、手の届く距離にあり、顔をちゃんと覚え、交流も増えることで丁寧にちゃんと接している。それは今、この世界に一番必要な姿なのだと思います。竹の塚中学校には「竹中ボランティア」があります。地域のお祭りなどに参加してくれますが、驚くほどたくさんの生徒が参加してくれます。それは竹の塚中学校の生徒間の繋がりや先生方との距離の近さや信頼があるからだだと思います。大切なことほど目には見えないとよく聞きますが、竹の塚中学校の持つ唯一無二の「価値」や「魅力」をどうかもっと見てあげてください。よろしくお願いいたします。
20	南花畑に生まれてからずっと住んでいます。花畑エリアが統廃合の対象になっていると知り、驚いています。自分の母校ではありませんが、友人たちの母校であり、なじみ深い小学校です。 花畑はとても広いので、統廃合すると通学時間が長くなり、事故や事件にまきこまれる可能性が増えます。小学生にはとても危険です。 施設更新の予算をかけられないとの考えかもしれませんが、少子化の今だからこそ子どもを大切にしなければなりません。少人数でクラス数が少なければひとりひとりに目が届く教育ができます。不登校やいじめも減らせるでしょう。国の未来のために絶対に削ってはいけない予算だと思います。
21	竹の塚中学校元PTA会長、西保木間小学校元PTA会長、竹の塚中学校開かれた学校協議会会員、西保木間小学校開かれた学校協議会副会長、水神町会総務部副部長、のぞみの会会員の〇〇と申します。 竹の塚中学校と淵江中学校の統合反対について。

No	いただいた意見
	竹の塚中学校は、完成された少人数校です。 少人数校なので、校長先生を始め、全教員の方が全生徒の名前と顔を記憶しておられます。 これは生徒にすれば、自分の存在を確認されることで学校に対する安心感と信頼感を生んでいると思います。 また、生徒間においても同学年だけでなく、上下の学年の生徒とも面識があり交流も多くなっております。 こういった事も影響してか、竹の塚中学校には不登校やちょっと学校が苦手な生徒に選ばれています。竹の塚小学校、古千谷小学校、東伊興小学校など広範囲の学校から選ばれております。 そういった、生徒に対し教員の方々はとても丁寧にそして柔軟に対応してくれ、学校に来られるようになった生徒も多数おり、保護者からも好評を得ております。 また、そういった生徒の保護者との連携も上手に取れており、無事に学校生活を送れております。 また、大規模校での学校生活になじめずに竹の塚中学校に転校してきた事例もありました。 こういった生徒のケアについては小規模校ならどこでもできるわけではなく、教員の方々そこにきちんと力を入れているからだともいえます。 大規模校での面での対応ではなく、小規模校ならではの点での対応ができている、成功例だと思います。 竹の塚中学校では「竹中ボランティア」と言って地域のお祭りや清掃活動などに積極的に参加しております。 大人数の生徒がいると、ボランティアに参加する回数も少なくなってしまうますが、人数が少ないことから、一人の生徒が複数のボランティア活動に参加することができ、地域の方にも顔を覚えてもらえ、繋がりが深くなっております。 この活動で接する地域の方は生徒たちが日ごろ接することが少ない、高齢者の方が多いのですが、生徒たちは臆することも、変に遠慮することもなく、非常に自然に接しております。 また、災害時の避難所としての役割も大きいと思います。 竹の塚中学校の近隣にはスカイタウンや、公社を始めとした高層集合住宅が多数あり、なくなってしまった場合、隣の西保木間小学校だけでは受け入れが不可能になる危険性があります。 以上のように、竹の塚中学校の存在は子どもたちだけではなく、地域住民にとっても不可欠な存在であり、統合提案には反対します。
22	中学生を子どもに待つ親です。 全学年1クラスしかない少人数の学校です。

No	いただいた意見
	現在、選択制を導入されていますが、そのせいで少人数化しているように思います。選べるなら、どこにしようか…と悩む保護者が多く、選ばなくて良いなら、そのほうが楽と言っている保護者もいます。 いじめや何か特別に学びたいという人は選択制でも良いと思いますが、何も理由のない人は悩む事なく学区の学校に行くのが良いと思います。義務教育までは、地域の子どもは地域で育てる事が大切だと思います。選択制をなくして、元の学区に戻すことを希望します。 普通に学区に通っている子が、選択制のせいで少人数になり、先生が減り、部活が少なくなり、色々制限が出てくるのはかわいそうです。選択制を廃止し学区に戻していただけるように、よろしくお願いします。
23	中学校の統廃合は慎重にするべきだと思います。子どもには、大規模校のにぎやかな雰囲気が合っている子もいれば、そのような雰囲気は苦手で小規模校のこじんまりとした雰囲気が合っている子もいます。子どもにはそれぞれ個性があり、それぞれの個性にあった特徴の学校を選べることは、子どもにとってとても大事なことだと思います。そして現在それができている足立区の子どもたちは幸せだと思います。「適正規模」という名のもとにその選択肢を奪うことには反対です。
24	地域の小中学校は地域の文化の交流の場として昔から位置づいてきました。適正規模・適正配置とはどのような基準・根拠からなのでしょうか。 日本の学校の学級規模（定員数）は多すぎます。20年以上前南フランスやデンマークの学校を訪問しましたが、その時でさえ、1学級の子どもの数は20人以下、複数の大人が教室内にいて、一人ひとりにきめ細やかな丁寧な指導や援助が行われていました。身体に障がいのある子には、一人24時間交代で3人がついていました。 学校の統廃合は大人のしかも効率を基にした考えだと私は思います。子どもたち一人ひとりの全面発達と地域で支え保障していく。そのためには、住んでいる近くに学校があることが必要です。教師のなり手が減っているのも、大勢の子どもたちにきちんと向き合えず、多忙すぎる教員の現実で、理想とはかけ離れて見えることも原因ではないでしょうか。 子どもの立場で、また教職員の働きやすさからも、統廃合には反対です。
25	学校統廃合をしないでください。子どもたちの現状をしっかりと見てください。学校規模を大きくする事は、不登校いじめ等の子どもの問題を丁寧に対応する事が出来ず、さらに増してしまう事が目に見えています。小さな学級、学校で丁寧に教育する。何処が悪いのでしょうか（海外では、標準です）適正配置、適正規模という言葉の前に、地域の学校の役割を考えてほしいです（避難所がそばにある事による、安心感どう保障するのか、今まで父母や地域の交流の場になって来た拠点の場所はどうするのか、教員の負担を軽減し、質を高めていくのに、部活を地域の人の力を借り、教育の場を豊かにしていく。保育園終了し、低学年の子どもたちの見守りの為、学校を活用してほしい等）

No	いただいた意見
	子どもを中心に安心、安全な場所をなくさないでほしいです。
26	学校統廃合の案が出されていることを知って驚きました。 少子化で子どもが減少していますが、30人学級で、先生が子どもたちに向き合えるよう、また、不登校も多い中、丁寧に取り組めるようにしてほしいです。 通学距離が遠くなり、交通事故の危険も高まります。 また、災害時の避難所となっている場合は、困ります。 子どもたちが安心して学校へ通うことができ、地域も安心できるよう、統廃合はしないでください。
27	学校統廃合をしないでください。 小さい学校をつぶして学校規模を大きくしていくことは、いじめや不登校に丁寧に取り組むことを困難にします。 通学距離が遠くなり、交通事故の危険が高まります。
28	小さい学校をつぶして、学校規模を大きくしていくことは、いじめや不登校につながる。将来のことを考えてクラスサイズを30人にして計算して、学校をつぶさないでください。 他区では、地域活発化の為、「1学年1クラス」あれば、学校をなくさない区もあります。
29	学校統廃合しないでください。 小さい学校をつぶして学校規模を大きくしていくことは、いじめや不登校に丁寧に取り組むことを困難にします。 子どもたちの学びの環境を守るためにも統廃合計画をやめてください！ よろしくお願いします。
30	「適正」と言いますが、教育は経済効率で考えるものではないと思います。小規模な学校の良さもあります。そちらを選びたいという子ども、保護者もいます。選択の巾をせばめないでほしいと思います。学校統廃合の問題は、まず統合ありきではなく、地元住民としっかり話し合って進めるべきです。
31	子どもは、この国をささえる主権者でもあります。みなさんも子どもを大切な存在と考えていると思います。 子ども一人ひとりが大切にされ、学びの場が保障される必要があります。 子どもがいる場所から、近くのに学校があることがとても大切です。小さなコミュニティで人間関係を育んでいける学校が必要です。一

No	いただいた意見
	クラス１０～１５人程度が子ども一人ひとりに目が届き、ゆっくり発達ができる環境といわれ、先進国でも実施しています。 学校の統廃合は、子どもの生育を阻害します。やめるべきです。
32	地域活発化の拠点として、学校は必要な施設です。（教育、文化、災害時対応など）子どもたちにとっても、ゆとりある少人数（３０人程）学級で、安心安全な近距離で通える学校を望んでいると思います。学校統廃合しないでください。 昭和３０年代後半、都市化政策で、田畑地域に団地を建設、新住民が増えて、新しい文化が芽生えました。学校、保育園、学童保育、児、老人施設（住区）、区民事務所、図書館など増設された。 少子化、施設の老朽化と口実にはなりません。教育にかける充分なお金を充ててください。 地域に根ざして暮らしてきた人々と、子どもたちを犠牲にする様な対策をこれ以上とらないでください。
33	学校統廃合をしないでください。
34	学校統廃合しないでください。
35	学校統廃合をやめてください。
36	息子２人は花西小と花中でした。もう４０年も前です。良い先生方に恵まれました。ありがたい事です。小学校は４クラスありました。古い学校になり、築５０年すぎは建替ですか？統廃合せずに何とか修繕で残せませんか？今、不登校が多いと問題になってます。少人数になれば、なくなると思います。 災害の時、学校ないと困ります。３．１１の時、友人がねこをつれて避難してきました。落ち着いたら学校に行きました。空き教室は備蓄したら良いと思います。 空き教室は、老人のだれでも何でも、健康や食事のこと何でもＯＫの部屋を貸し出して住民にお任せでどうでしょう。 花畑地域全体のこととして考えてください。
37	学校の統廃合に反対です。 通学距離が長くなり、学校に通うだけで子どもたちが疲れてしまいます。 通いたかった学校がなくなってしまって、悲しむ子どもたちがでてしまいます。

No	いただいた意見
	地域の避難所としての役割もある為、災害時に困る人たちもできます。
38	学校は子どももお年寄りもすぐ歩いていける場所になければならないと思います。 通学の負担、避難所への距離を考えると1番弱い人を基準に考えるべきです。 また、不登校が大きな問題になっています。大きくなればなるほど、全教員が学校全体に目を配ることは難しくなると思います。子どもに寄り添う教員の方の負担も大変になると思います。
39	元区内中学校（小規模校）で勤務していました。適正規模校のよさ「様々な人たちの意見やかかわりがある。」のは承知していますが、今の子どもたちは学校以外でのつながり（塾・地域の行事・学校はちがうが近所での友人関係・習い事）など様々あります。別の場所での居場所としてかかわりをもっています。 小規模校のよさとして、子どもたちの安全面についても挙げられます。養護教諭も児童・生徒の顔と名前を全員把握しているため、ケガをしたり、体調不良の時などすぐ担任に知らせてくれました。栄養教諭もアレルギー対応なども1人1人の情報をしっかりと、常に把握対応しており、丁寧な指導ができていた。養護教諭や栄養教諭が児童・生徒の名前と顔を把握しているのは、とても大事で「〇〇さん」と呼べる仲になって、常に気にかけてくれる安心感は子どもたちにとって、教員にとっても信頼はばつぐんでした。小規模校をなくさないでほしいです！
40	学校統廃合をしないでください。 現在、いじめや不登校の子どもが多くなっています。この事態を解消するためには、小規模校や少人数学級の方がきめ細やかな対応ができるのではないかと考えます。むしろ、小規模校へ移行することを望みます。 学校は地域の避難所としても大切な役割を果たしています。統廃合によって災害時避難所が縮小され、地域の方々も困ることになってしまいます。特に近年、大規模災害が発生している状況ですので、近くに避難所があれば、住民の安心感にもつながります。 以上、考慮していただきますようよろしくお願いいたします。
41	子どもの少子化対策として、従来の学級規模での環境は、子どもも教師もゆとりを持って過ごすことができません。30人（多くても）で計算し、学校を潰さないでください。 通学距離が遠くなり、交通事故や暗くなってからの下校となり、危険が高まります。 地域や子どもたちの意見をしっかり聞いてください。

No	いただいた意見
	それぞれの学校の良さを残して、のびのびとした、子どもたちのふれあえる学校を残してほしいです。
42	花畑地域で学校統廃合の計画があると知りました。私の住む鹿浜地域ではすでに統廃合が行われ、子どもたちが遠くの学校に通わなくてはいけなくなっています。入学したばかりの一年生が、重いランドセルを背負って、何十分も歩かなくてはいけないのです。交通事故の心配や、雨の日など本当にかわいそうです。 学校統廃合の計画は絶対に中止してください。
43	子どもは地域に住む人々が地域で見守っていくものだと思います。 先生方も小規模の方が子どもたちの顔がみえて子どもたちを指導しやすいと思います。災害が起きた時は避難して来た子や親がどこの子であるか確認でき、誰が集まれているかすぐに察知することが大切ではないでしょうか。小規模のまとまりが大切です。 小規模できめ細やかな教育がなされれば、登校拒否児もなくなって子どもたちの豊かな集団ができるのではないのでしょうか。 一人も落ちこぼさない教育をめざして合併など考えないで子どもたちが通いやすい距離の学校で先生方も子どもたちと向き合うことが楽しくなるような学校であってほしいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。
44	学校統廃合をしないでください。 統合で通学距離が遠くなり、交通事故の危険が高まります。 地域の避難所がなくなり、住民は災害時に困ります。
45	今、多様化している時代、充実した教育の為には、1人1人によりそった対応が可能となる少人数学級が必要であると思います。 外国の学校では、小さいサイズの学級、学校が標準で丁寧に教えてもらっていると聞きます。 長門小から大谷田小に通うとなったら、通学距離が遠くなり、交通事故の危険が高まります。 以上の点から、学校統廃合には反対です。学校統廃合をしないでください。
46	中川地域、長門小と大谷田小の統廃合校について。 両校は結構離れています。通学の時の交通事故で失われる命があってはならないと思います。 また、地域の住民が避難する事が起きた場合、避難所がなくなり、住民の命の危険もあります。 とくに、この地域は中川のすぐそばにあり、避難指示が出されている地域です。 区民の命を守るため、統廃合はやめてください。

No	いただいた意見
47	(全文公表を希望しない)
48	近くの小学校をなくし、通学距離が遠くなり、子どもたちを交通事故の危険にさらしていいのでしょうか。 私は江北小の近くに８０年います。子どもたちの声が聞こえなくなり、とても悲しい思いでいます。 早く江北小の跡地に子どもたちの声や若人の声がひびくようになってほしいです。 冬になると道が暗くなるので心配です。 お母さんたちが自転車で迎えに行く姿をよく見かけます。
49	小・中学校の適正規模が何を基準にしているかわかりません。 不登校の児童や生徒が増えています。１クラスの定数を少なくし、どの子にもわかる授業にしてほしい。 各学校の人数が減っている今が小人数学級にするいいチャンスだと思います。 子どもの実態にあった教員の配置をしてください。 もっと現場の意見を聞いてほしいです。
50	今回の足立区の計画は、統廃合先にありきで、今、国・都・区をあげてすすめられている教職員の働き方改革に逆行するものではないか と思います。また、教職員組合は、少人数学級を求め、運動をすすめています。少人数学級実現の際の教室不足が懸念されます。地域住民 にとっても、防災拠点でもある学校がなくなると、災害時の避難所が不足したり、遠くなったりして大変になります。また、地域コミュニ ティーの核としての学校がなくなり、地域住民のつながりが壊れてしまいます。 統廃合でなくすべき学校はひとつもありません。学校は地域の宝です、地域コミュニティの拠点です。 〈職場から上がっていた学校統廃合への意見〉 ①子どものものを奪っていくのをやめてください。声なき声を聞かねばいけないと思います。 ②地域、現場の声を聞くべきです。 ③学校統廃合による様々な弊害を考えると、無闇に進めてほしくないと思います。教育環境の悪化は、必ず子どもに返ってきます。 ④地域が成り立たなくなります。避難拠点がなくなります。 ⑤学校選択制をやるから過少校が出てくるのです。選択制をやめれば、学校規模は安定します。 〈学校統廃合への意見〉

No	いただいた意見
	学校は、どこでも平等な教育を受けられることを前提とし、子どもの全面的な人格形成を目的とした地域の父母・住民と共同して築き上げていくものです。今回の学校統廃合計画は、単に学校数を減らすだけではなく、その本質を変えていくものです。 学校統廃合に際しては、子どもたちにどんな影響を与えるのかを考えていただきたいと思います。子どもたちに精神的なダメージを与え、学級崩壊や不登校が起きるなどの「荒れ」が報告されてきました。 予算削減の方策としての学校統廃合であってはなりません。地域に子どもがいる以上、その子どもたちに教育を保障する義務が、国や自治体にはあります。学校の「適正規模」や「適正配置」の前に、子どもたち一人ひとりをそのありのままの条件から考えることが必要なのではないかと考えます。
51	旧五反野小は母校でしたが、統配合によって無くなってしまいました。 これ以上母校を失うことがないようにしてほしいです。 また、現在行っている子どもたちが、突然学校を変えなければならないことも、子どもたちにとって環境が変わることで精神的負担になります。
52①	お金がないから、今後子どもの数が減っていくから学校を統廃合していくという発想がそもそも本末転倒です。今、子どもたちの教育にお金をかけることが、将来の日本・足立区にとっては大事なことだと思います。 全国的に子どもが自ら命を絶つ、不登校児童が増え続ける、その原因は様々あるかと思いますが、せめて学校へ行けば楽しい！という居場所にしてほしいと思います。そのためにはゆとりのある学校生活を送ってほしいです。 1番の解決方法は、1クラスの人数を30人以下にして、担任が一人一人に寄り添えるようにすること。子どもが発する信号をいち早く察知し、初期の段階で解決することだと思います。人数が多いとその信号を見逃してしまいがちです。 先生には、たっぷり時間をかけて真剣に向き合ってほしいです。人数が多いと担任も日頃ゆとりのない中、四苦八苦の現場になっていないでしょうか。・・・(先生は忙しそうだから話せないか・・・)の気持ちを子どもたちに抱かせてはいないでしょうか。 学習面でも、小人数のクラスだと一人一人のつまづきが把握でき、その子に応じた対処も可能で、子どもも解るようになりたいと意欲的になっていきます。解る喜びをもつ。勉強って楽しいんだ！と感じる学校にしてほしいと思います。 今の状態で統廃合してしまうことは、足立区の教育を貧しいものにしていくとしか思えません。子どもを大切に育てていきませんか。 そのための環境を整えるのは行政の責任ではないでしょうか。 先生たちにも希望とやる気、ゆとりをもってもらえるようにしてください。

No	いただいた意見
	「先生を増やして！」の署名に取り組んでいる一員なのですが、「署名します」と駆け寄ってくるのは、身内が教員、友人が教員。その声は悲痛です。 （疲れ切っている。精神的にも参っている。だから、いつでも辞めてもいいよ）（心がおかしくなる前に辞めてくれ）（家には寝に帰るだけ）（帰っても持ち帰り仕事。土曜か日曜のどちらかは学校に行っている。そうでないと仕事が終わらない）など。 希望に燃えて教員になったのに、多忙さ故に教員を辞めていく。残念なことです。将来が案じられます。今、思い切って教育にお金をかけてください。
52②	学校に勤める人間は多くなっているけれど、様々な関わり方の先生がいてお互い名前も顔もわからないまま年が過ぎていっているとも聞きます。だから、教員同士の繋がりが薄い。 まずは小人数クラスを優先して、正規の先生を増やすべきです。そのうえで講師の先生方に補助をしてもらう。 足立区の学校現場に赴任してきて良かった！思う存分教育活動ができる。子どもと接する時間が多い。学校に行くのが楽しい！そんな足立区にしてほしいです。 また、学校がなくなっていくと、その地域に活気がなくなり、さびれていくという統計はどうなのでしょう。子どもの通学距離が長くなることや通学時間が増えることで保護者は、早めに送り出さなくてはいけなくなる問題。災害時の避難場所の問題。これも地域の学校がなくなることによって困る人、続出でしょう。 そう考えると、地域に学校があることのすばらしさにもっと目を向けるべきです。 今までいくつかの学校が統廃合されてきましたが、その反省は、どうなのでしょう。大規模校になって困った事や子どもたちの、保護者たちの声はどうなのでしょう。良かった点、悪かった点などアンケートを取っているのでしょうか。学校がなくなった地域の声はどうなのでしょう。 統廃合計画は、見直してください。よろしくお願いいたします。
53	学校の統廃合には反対します。未来を担う子どもは、大勢の中の一人として見てはいけないのです。 一人一人がそれぞれ別の光を持って生きています。その光を見つけ、より輝きを増す手伝いをするのが学校の教職員です。そのためには、大規模学校では役割を果たせません。職員全員が一人一人の子どもを知ることが大切ではないでしょうか。 また学校は地域の中心であり、心の拠り所でもあります。東日本大震災では、帰宅困難者や不安を抱える老人や健常者でない者にとって学校は大きな役割を果たさざるを得ませんでした。教職員の方たちの献身的な仕事ぶりが、どれだけそれらの不安を減らすことができたか！

No	いただいた意見
	今後も、地震災害や大雨による洪水の危険性が高まってくる中、それらの災害に備えて学校が救済の中心になるべく身近になればなりません。遠くの親類より近くの知人という言葉もあります。 通学路が長くなり、交通事故の危険大になったり、学級人数が多くいわゆる荒れている学校も出ていると聞きます。 学校を減らさず、少人数にして、一人一人の子どもに目や手を掛けていただきたいです。
54	「足立区立小中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて（案）」では「1校あたり12～24学級」を適正規模の基準としていますが、その基準がどのような具体的な教育的効果があるかについては全く述べられていません。また、教育的観点からの検討もなしに小規模校は「適正規模」外とされています。 適正規模をいうなら、子どもたちの教育や成長にとってふさわしいとされる学校の規模はどれくらいかの検討や研究を経た案が提示されるべきではないでしょうか。今回のガイドラインには賛成できません。 諸外国の学校規模が小さいのはそれだけ教育効果が高いからです。「小さな学校」「小さな学級」ほど、学習意欲や態度が積極的になり、子どもたちの人格形成・人間的成長にとっても効果的であることが実証されています。これまでの研究報告としては、学校の規模が小さいほど教育効果が高まることを実証した「コールマン報告」（1966年）や学級の規模が小さいほど教育効果が高まることを実証した「グラス・スミス曲線」（1982年）などがあり、WHO（世界保健機関）は生徒100人を上回らない学校規模を勧告しています。 日本もこのような研究や勧告に耳を傾けるときではないでしょうか。 小規模校では、切磋琢磨や相互啓発がなされにくいようにいわれてきましたが、本当にそうなのでしょうか。子どもは、他人と自分の能力の違いに気づくことによって競争意識が芽生えます。力の差を認識することによってみずから深く学ぶとともに、助け合う喜びや相手を思いやる快感などを経験していきます。これが本当の意味での切磋琢磨や相互啓発ではないのでしょうか。子どもの自然な競争意識を芽生えさせるのに、大規模な集団はいりません。 これからの時代、単なる知識の詰め込みだけの受身の教育では役に立ちません。知識を応用し、いろいろな課題解決に取り組む力、集団の中で自らの能力を主体的・積極的に発揮する力が求められます。そうした力を培うには、小さな学校が有効です。 公立小中学校の施設整備に対する国の補助金（負担金）について定めた法律によると、国が定める「適正な規模」に学校を統合するなら、校舎や体育館など施設整備に補助金を出すとしており、その「適正な学校規模」は「おおむね12～18学級」と示しています。さらに国はこの基準について弾力的な運用も行っています。 足立区のガイドラインが示す適正規模「1校あたり12～24学級」は国の根拠法令の適正規模をそのまま踏襲しています。こうなると、

No	いただいた意見
	学校統廃合は教育的観点からの計画というよりは、「小規模校は経費が割高になって効率的ではないから、国の補助金が出る規模に統合して学校経費を合理化する」計画のように受け取れます。 これまでに聞かれた「統合して困った点」としては、「通学距離が遠くなった」「友達の家が遠い」「小人数の方が指導が細かい」などがあります。学校のことは、学校当事者・地域の方々・子どもたちの声にじゅうぶんな耳をかたむけながら行うべきだと考えます。
55	未来をになう子どもたちにこそ、お金を使うべきです。地域の特性をいかし、丁寧な教育をしてほしい。 学校統合反対！！
56	学校の統廃合はやめてください！ 子ども一人一人を大切にできる小規模校をつぶさずに残してください。 統廃合によって通うのが大変な子どもでできます。不登校児童が増えている中、きめ細やかな指導、見守りが求められています。 学校統合反対！ 子どもたちによりよい教育を！ 先生の数をもっと増やして一人一人に行き届いた教育を！
57	小・中学校を減らすと子どもの登下校の道のりが長くなり、危険も加わります。 防災の点から考えても、地域に公立学校があることは大事です。 子どもの数が減ってくるでしょうが、地域に根ざした集まりの場としてほしいです。 小さいサイズの学級・学校を増やして丁寧に教えてくれる場にしてほしいです。
58	学校統廃合反対 子どもたちの未来を考えてゆきましょう。
59	今の子どもたちはタブレット、携帯電話、パソコンとの関りが濃くなっております。 そんな中での教育はもっと子どもたちが心のゆとりをもって丁寧に教えてもらえる環境が一層大切になっていると考えます。 定数は30人であっても多すぎるくらいです。 私は他区で3年間新1年生を指導いたしましたが、その3年間は28人、12人、10人と人数は減っていきました。 実にきめ細かくゆとりを持って教育できたと思えた3年間でした。学力テストの是非はあるとは思いますが、2年生の学力テストが高かったと元同僚から報告をもらったことを思い出しました。校長からは、「手のかかる子どもを持った親は近隣の少人数の学校を探してくるん

No	いただいた意見
	だよ」とも聞かされたことも思い出しました。手厚い教育が行えるように学校はなくすのではなくて、子どもも教師も夢と希望をもってすごせる環境にしてください。
60	学校は地域の宝物です。子どもたちが学び、家族や地域はその成長を楽しみに見守ってきました。子どもたちが問題を抱え、たいへん心配した時期もありました。タバコをくわえて遅く登校する。爆竹、花火で爆音後始末を注意する。集団で集まっている生徒へはこちらも構えてしまいました。そこへ同じ学校の生徒が「止めなよ」といさめてくれたこともありました。 先生方と懇談し、学校の様子を聴く機会もつくりました。人数が多く対応も指導も苦勞されていることが分かりました。 小学校も同様です。いじめやいたずらの問題が起きた時、先生と保護者が協力して、スポーツ大会を開き、子ども同士が仲よくなるようにしました。地域に返す夏休みにはその直前地域ごとに分かれて、保護者、先生、地域の三者が集まり、どう過ごすか話し合いました。卒業式には、子どもたちの成長に拍手が湧きました。 今、災害の拠点としても重要です。両校とも残し、少人数でいき届いた教育が受けられ、地域でその子どもたちの成長を楽しみに見守りたいと願っています。学校を地域から無くすことは住民の意見に反します。
61	私は区立小学校の教員として37年間その後退職してからは、嘱託5年、学習ボランティア等で77歳まで足立の教育に関わってきました。生まれも育ちも足立の私にとっては足立はかけがえのないところです。学校に通った区民の皆さんも母校はかけがえのない心のふるさとだと思います。その母校がなくなってしまうたら、心の拠り所をどこに求めたらいいのでしょうか。統廃合によって通学距離が遠くなる子どもたちは交通事故や通学途中の事故も心配です。低学年や特別支援学級の児童等のことを考えてほしいと思います。 効率だけを考えず、足立に住んでよかったと思う区民が増えるように区のお金を使ってください。そのためにも学校統廃合をすすめるのはやめてください。
62	学校統廃合をしないでください。 地域でのつながりもなくなり通学も遠くなれば危険です。 少人数で丁寧な教育をしてください。 いろんな事故や事件が多い中、保護者も子どもも安心して学べる教育環境を希望します。 競争、競争の教育は反対です。よろしくお願いします。
63	統廃合は教育の後退を差すもので絶対に許す事はできません。従来の学校規模での人数も大いに問題があると考えます。そもそも教育とは何ぞやと言う事をしっかりと見つめ視点をきちんと見据えて考えて様々考え方とか区民そして親子さん、これから先の不安等々も多くの

No	いただいた意見
	意見を募り区民参加を促してその為に今現状の事を大いに語り未来への指針を考えてください。学校は子どもたちが学校を楽しく過ごせる空間です。大人たちと先生たち、地域の仲間たちを巻き込んで見える学校作りを一緒に前へ前へ進めましょう。
64	「小さな学校をつぶしていく足立区の方針をやめてください」 理由 1…今まで足立区小中学校の適正配置・適正規模の基準と施設更新を理由にして、足立区が言う「過小規模校」をいくつもつぶしてきました。本音は「施設更新にお金をかけたくない。1校少なくなれば、何十億も浮かせることができる」ということで、子どもたちのことを犠牲にしてまで強行してきました。 特に、足立区は、学校統廃合とリンクした学校選択制と学力テストで学校間競争をあおりながら、小さな学校を意図的に作り出してきました。結果、つぶされた学校の児童生徒たちは、犠牲になってきました。それだけでなく、統合された学校の多くが、「荒れる」という現象が起こり、子どもたちは落ち着かず、教職員の負担は大きくなり、教育困難校になっています。不登校も増えています。学校の施設更新は、今ある学校の全てできちんと建て替えをするべきです。 理由 2…足立区は、「小さい学校は、教育効果が低い」と言いますが、これは時代遅れです。外国の学校は1クラス25人前後が多く、学校規模も日本より小さいです。また、隣の荒川区では、「学年1クラスあれば、学校はつぶさない」という方針でやっていて学校が、地域のコミュニティの中心、避難所として地域の活性化にも役に立っています。 また、近年、子どもたちは様々な子が通学してきて1クラス35人・40人学級の画一的な教育では、教師が対応しきれなくなっています。結果、不登校児童・生徒が急増し、教職員も疲弊して病休になったり、中途退職したりしてさらに教育困難を招いています。 コロナ禍の時に分散登校ということがありました。子どもも教員もゆとりを持って関わることができました。将来、日本も1クラス20人程度になると思います。将来を見据えて学校をなくさず、今のまま維持すべきです。小さな学校は、自然といい教育ができるという証明が、区内のつぶされた学校の実践記録に載っています。小さな学校は、未来の学校です。その蓋を閉じるようなことは、絶対にやめてください。 理由 3…統廃合で必ず「遠くまで歩いて行かなければならなくなる」からです。それによって、交通事故の危険性も高まります。そして、避難所も遠くなります。地域のコミュニティも壊れます。足立区民、小中学生、学校にとって何もいいことはありません。今ある学校は、全て残してください。
65	学級は30人で先生の目のとどく教育ができると思います。 旧江北小学校は140年近くになります。

No	いただいた意見
	銀杏木も１木でがんばっています。 早く子どもたちやお年寄りが集まれるようになってほしいです。 足立区も人口が多くなってくると思います。 旧学校はなくさないでください。プレハブ校舎になってはこまります。
66	他区で学年１クラスでもあれば学校をなくさない区もあり、足立区も考えるべきだと思う。
67	学校統廃合はやめてください。私の住んでいる江北では、江北小と高野小がひとつになったため、小さな子どもが大きなランドセルを背負ってかなりの距離を歩いて通っている姿をみます。 入学式当初は親が心配して同行されている方も多かったです。 最近子ども同士で帰り道とんだりはねたり元気よく通学しています。 その姿を見るにつけ、自転車とぶつからなければと心配しています。私たちも時々後ろから、前から、”危ない”ということも度々あります。子どもたちの通う学校はなるべく家から近いことが望まれます。どうか更なる区内での統廃合をやめてください。小規模の学校をたくさんに。楽しく思い出に残る子どもの時代の学校になるよう願います。
68	私は学校統廃合について「大きい学校の方が組変えしたりたくさんの方との交流が出来て良い」との意見を聞きました。足立区で千人以上の生徒が不登校になっているその原因は先生方が忙しすぎて子どもの心をつかみきれないからだと思われれます。 こんな現状の中でさらに大きい学校？すごい現実ばなれで財政中心の教育では？未来のある子どもたちをこれ以上置きざりにしないでください。私は田舎の学校で本当に少人数でしたけど、何十年過ぎても全員の事が思い浮かびます。 統廃合は反対です。
69	小規模校を選択した子どもが保護者の希望を無視することになりませんか？ 通学距離が遠くなり、交通事故の危険があります。
70	学校が統合となった場合、学区域が広くなり、通学時間が長くなります。そうなるとう登校することが苦になり、長欠になる生徒がいます。 また、学校では認めない自転車通学をする生徒がでてきます。事故につながった事例がありました。 権力争いが発生します。子どもたち同士による争いもありますし、教員同士の生活指導の考え方による争いも発生します。 築年数が５０年を超えているなら、学校ごとに建て替えをすればいいことで、築年数を超えていることを機会に統廃合はおかしい。

No	いただいた意見
71	学校数を減らすということは周辺学区域と調整の上学区域を定めると考えられるが、学区域が広くなることは明白。教育は学校の中だけで行われるわけではなく、地域の人々との協力協同が不可欠です。学区域が広くなることは、それだけ目の届く範囲が希薄になり、地域の人たちとの関係も希薄になると思われる。故に、学区域が広くなる統廃合には反対である。
72	小学校は特に、低学年の児童にとっては、遠いところまで歩いていくのは大変です。家からできるだけ近い学校に通わせたいと思います。 また、少人数になっても、少人数のクラスはとても目がゆき届いて、全員に目が向けられるという利点があります。ぜひ学校統廃合はやめてほしいと思います。 また、母校がなくなるというのはとてもさびしいことです。私は足立区に生まれ、鹿浜小学校、鹿浜中学校に通っていましたが、どちらも統廃合でなくなってしまいました。とても悲しいです。 荒川区の中学に勤務していた時に統廃合を経験しましたが、統合一年目は教員の意思疎通がなかなかできず、本当に大変でした。 学校統廃合には反対です。
73	学校統廃合に反対します。 これまでの統廃合で ・予想以上の児童増になり、大混乱している学校があります。 ・落ち着かない子が増え、群れて教室を出て暴れている学校もあります。 ・隣近所の子どもが、同じ学校に行けなくなりバラバラで登下校するようになり、地域の住民が分断されました。 経済優先ではなく、子ども優先、住民優先の区政にしてください。学校統廃合に強く反対します。
74	①足立区の適正規模の基準が、学校教育法の（１２～１８学級）を超えて、（１２学級～２４学級）に設定している考え方が、子どもたちの現状を無視した大規模校を生み出す施策になっています。※新田学園（日本１の過大規模校）の例は、反省事例としてこれからの施策に反映させてほしいです。 ②少子化対策と、学校統廃合を一緒にする考え方は、子どもたちの不登校を増やす大きな要因に繋がります。１学級あたりの児童・生徒数は、３５人になりましたが、いまだにきめ細かな対応はできないままです。現場の教職員も疲れています。休職者も増えています。学級定数も少子化と子どもたちの変化に合わせて、２０人学級を実現することが喫緊の課題だと思います。長門小に５年間勤務しましたが、１クラス２０人台の教室環境は、子どもにとっても教員にとっても最高の教室環境でした。１０クラス以下の小規模校になったから、近くの大谷田小と一緒にするという安易な考え方はしないでほしいです。

No	いただいた意見
	③学校施設の更新については、建築後約50年を経過しているので、検討する時期に来ています。長門小は、低地のため、中川が氾濫した場合、1階は完全に水没してしまいます。体育館も避難所にはなりません。建て替える時は、地域の防災施設としての役割を果たせるよう検討して進めてほしいです。その時は、地域住民の声をしっかり聴いて進めてください。
75	学校が統廃合されたら困ります。 いざ災害の時など、にげ場がなくなります。住民本位の暮らしにあった行政をお願いします。 住民のためになるお金のつかい方をしてほしいです。本当によろしくをお願いします。
76	今年、足立区では小中学校の統廃合を計画していると伺いました。 学校がつぶされるということは、地域にとっても、その学校を卒業した子ども（もうおとなになっている人も）にとっても、大変なことです。故郷をなくされるようなもので、何ものにも代えがたいものです。 どうか、学校は今までの名前のままで存続させていただけますようにお願いします。 別の面から申しますと、学校の規模は小さい方が、全員の教職員が全校児童生徒の名前と顔が分かるので、問題があった場合も含め、全員が把握できるという、大きなメリットがあります。小規模校は家庭的な雰囲気の中で、いじめ問題や不登校児（生徒）が少ないと言えます。どうか小規模というだけで廃校にしないで、存続させてください。
77	長門小は9学級の小さな学校ですが、良いところがたくさんあります。その1つに教員が子どもたちの名前を覚えることができるということです。教員はどの学年の子にもよく声をかけて話をしたり、遊んだりとかかわりをもつことができます。また、きめ細やかな学習指導ができます。大人が子どもたちを温かく見守ることで、子どもたちは安心して学校生活を送っています。 また、今は35人学級ですが、35人近くの子どもたちでいっぱい教室は、学習指導、生活指導ともに大変で学級担任の仕事は、削減どころか、増加しているのです。30人学級、25人学級となっていくようにと希望していますが、その時のためにも地域の学校をなくすことはできません。学校をなくしてしまうことは簡単でしょうが、作ることはもうできなくなるのではないのでしょうか。 中川のすぐ横に建つ長門小は大雨の度に洪水の不安があり、地域の防災の拠点です。なくすことはできません。学校の統廃合に反対します。
78	学校の統廃合をしないでください。 前期の半分がすぎ、今日も学校の玄関で母と教室に行きたくない・・・とせめぎ合いをしている児童がいます。登校しぶりです。 様々な理由があるかと思いますが、遠方から登校している児童にとったら、通学距離が長いというのは、登校しぶりの一因になります。

No	いただいた意見
	学校の統廃合により、このような不登校の児童を増やさないでください。 通学距離が長くなると、交通事故の危険も多くなります。
79	長門小の統廃合に反対します。 長門小の地域は、住民の方々と一緒に取り組む行事があります。昨今、協力し合う行事が少なくなっている中で、もちつき大会、児童と地域の方々と育てたトウモロコシやスイカを夏のプールの後に食べたり…。 コロナ以来、そのとりくみも変化してきているようですが、学校の特色だと思います。学校は、単に子どもたちに学びを提供するだけでなく、災害時の避難所になったりします。 学校施設を減らす施策は、教育予算の削減が目的に見えてしまいます。 小さいからといって、学校をなくすのはおかしいです。
80	本校長門小学校は避難所として地域住民が利用している。数年前の近隣河川氾濫に関する警報が出された際には、非常に多くの住民が避難して来たと聞いている。水害リスクが高い地域において、避難所が近くにあるというのは安心感がある。 小規模校だからこそ、本校に通わせたいと学区を越えて登校させている保護者がいる。児童のみならず保護者支援の観点からも統廃合には反対する。
81	統廃合をしないでほしい。 子どもたちをとりまく状況はよくなっていない。はじき出される子どもたちがいることも憂慮しています。 小規模校があっても良いし、学校が地域にある事の意味もますます大きいと思います。 小さい人たちの集団が地域にあって、高齢者も含む地域住民との交流もある。そんな事を大事にする足立区でありたい。 その学校で育った児童、生徒の见えない力をも行政は大事にしてほしい。
82	現在、2つの中学校で美術の時間講師をしています。1つは一学年7クラスの大規模校、もう一つは2クラスの小規模校です。 小規模校は1クラス23～24人、教室の前の方に3分の2程、教員が話始めると、自然に注目し、よく聴いています。わからないことへの質問はまばらなので、丁寧に答えることができます。作業が始まると、全員がよく集中して取り組んでいます。なかなか進めることができない生徒にも、ゆっくり机間巡視をして、一人ひとりに手をかけることができます。片や、大規模校では、教室に38から39人がギッシリ、机は7番目まであり、最後列の生徒は背中が壁にくっつくほど、そういう状況ですから、机間巡視もままならず、一人ひとりに個別指導など、ほど遠く、指導する側が消化不良なら教わる側も満足できるはずがありません。

No	いただいた意見
	小規模校なら、さらにクラスの人数が少なければ、生徒一人ひとりに手をかけることができ、学力向上にもつながることは間違いないでしょう。さらに、生活指導面のトラブルやいじめの問題についても、解決しやすいばかりか、起きにくくなるはずです。 以上の理由から、学校の統廃合をしないでください。
83	統廃合は、地域の声をきいてほしいです。 私の出身地では、田舎なので少子化が進み、統廃合された結果、小中学生はスクールバスで通学しているようです。びっくりしました。 経済効率優先では、子どもの安全安心は守られず、ひとりもとりこぼさない教育や様々な貴重な体験を重ねることもできません。外国のように、小さいサイズの学級・学校をなくさず、それを強みとしてひとりひとりに合った教育をすることこそ少子化時代必要だと考えます。
84	小規模校をなくすと、選択した子どもや保護者の希望を無視することになります。 通学距離が遠くなり、子どもたちの通学の安全が守ることができるでしょうか。事故が起きてからではどうしますか。安全に通学ができるようにしてください。
85	地域にあるのが学校だと思います。 70才台になっても、小学校、中学校は思い出の場所です。 子どもが少ないから、まとめればいいというのは子どもの気持ちをくんでいない大人の論理だと思います。 少人数学級をと要求しているのに逆行するのはおかしいです。 先生にとってもマンモス校より子どもたちひとりひとりの顔が見えるクラスの方がいいのでは。 地域の学校を残してください。 統廃合には反対します。
86	足立区立長門小学校と大谷田小学校の学校統廃合に反対します。 長門小と大谷田小の統廃合については、すでに30年前から出ています。この間、地域にマンション、商業施設が出来たことで子育て人口が増えてきて、この統廃合については、後回しになっていました。現在、児童数は減少の傾向にあります。(今年度、長門小は9クラスです。)しかし、以前と比べると教育の内容や質が著しく変化しています。教育の内容が多様化すると、単学級でも少人数教育が重要になり、例え、空き教室が増えたとしても、その教室を有効に利用する必要があります。児童数が減少し、すべてが単級(6クラス)になったとしても、児童が学校生活、学習していくためには、長門小学校の施設は、これからも有効活用できます。足立区の東端にある長門小学校ですが、足立区内の他の小学校に比べて、不登校児が大変少ない。(区の不登校児の人数調査を見てください。)なぜでしょうか？昔ながらの地

No	いただいた意見
	域の協力や子どもへの見守りが行き届いています。小さな学校ながら校庭も広く、直線コースで100M走をとることができます。周辺の保育園等のかかわりも強く、子育てするには安定し、落ち着いた地域です。
87	学校は町の中心です。未来を担う次世代を育てる「学校」は子どもたち一人ひとりがのびのびと成長する環境にしてください。クラスの人数は20人台になるように先生方の人数を増やしてください。 「適正配置、適正規模」などといって、学校統廃合をすすめることに反対です。子どもたちの通学、安全に通える距離など、無理を強いることがないようにしてください。 不登校、いじめなどで学校に通えない子どもたちが通える学校にしてください。義務教育なのですから、それが当然ではありませんか。一人ひとりの子どもたちの意見を、声を聞き、建物だけでなくみんなが通える学校づくりをしてください。 一つひとつの学校を残し、地域に公開して、住民みんなに開かれた学校にするようにしてください。避難所として使えるように改造など工夫してください。 小規模校をなくさないでください。 それが「教育」の人間として育つ環境で重要だと思います。
88	花畑地区に住んでいます。花畑で育ち、結婚してから戻って子どもを育てています。自分が育った40年前とは、ずいぶん変わりました。近隣の桜花小学校は2クラス、花畑北中学校は1クラスしかありません。 花畑は駅から遠く、今後も大規模な再開発は見込めないで、年少人口が増加することは考えにくいでしょう。これも時代の流れであり、避けられないことではあるのかもしれませんが。これからも、ある程度の不便さを受け入れて我々は暮らしていくのかもしれませんが。 しかしそのように受け入れることができるのは、私が、多かれ少なかれ自分の意思で住んでいる大人だからです。 子どもたちが、我々と同じような不便さを受け入れ、他の地区の子どもよりも不利な環境で育たなければならないことは到底受け入れられません。 6歳の小学一年生が、30分かけて学校に登校することが普通であっていいのでしょうか。小中学校が統廃合され、徒歩で登校するのに時間がかかるのであれば、時間を短縮できる手立てを合わせて検討すべきと考えます。 学ぶことに不公平があってはならないと、自分は思います。 乱文失礼しました。

No	いただいた意見
89	花畑地区に関しての意見をいたします。花畑北中学校建設時から見ていて、入学前には校舎増築していました。花畑北中出身で学校が有る地区の鷺宿町会の副会長をしています。花畑北中は避難所として毎年訓練を行っていて地域に無くてはならない学校です。現段階でも大規模補修で綺麗になってきています。立地的には桑袋エリアからの登校が北中以外になるととても遠いと思います。花畑中は立地的には、花畑北中と花保中と瀏江中とにうまくエリア分けが出来ると思います。 開かれた学校づくり協議会会長の立場もあり町会内にある学校として、花畑北中学校と鷺宿町会、近隣の大鷲神社の行事等で良い関係が築けていて、これからも続けて行きたいと思っています。子どもたちの人数で合併は仕方ないと思います。 立地条件や校舎の新しさ含め、花畑北中は残してほしいと思います。 そして色々大変でしょうが、後々は桜花小との小中一貫校も候補にあげてもらえたらとも思っています。 別校舎でも、北中周りの公園込みの新校舎なども良いかと思っています。 よろしくお願いいたします。
90	学校統廃合には基本的に反対します。 ①通学距離（時間）が長くなり生徒への負担が増える。 通学往復路での事故・事件等発生が懸念される。 ②学校は、地震や台風など、大災害時の避難場所です。 生徒数が減ったからといって廃校・更地にすべきでない。 ③教師と生徒の立場から、少人数学級のほうが良い。 ひとクラス20人でも問題ない。35人でも多すぎる。 効率や経済性だけで学校を無くさないほしい。
91①	足立区に50年以上在住です。 3人の子育てを卒業し、86～93歳の4人の親も同じ花畑で生活しております。 気付けば近所は高齢者ばかりで、我が子も1人を残し皆就職を機に家を出て便利な地で生活しております。 自分自身も不便な地で生活し何度もこの地を離れようと考えては、将来の両親の事も考えこの地で暮らし続けております。 花畑の少子化は単に子どもの減少だけではなく、交通問題も相まって若い世代がこの地に住みたいと思わなくなっている事も問題視すべきと考えております。

No	いただいた意見
	花畑は地域内交通も提案されておりますが、高齢者が最低限必要な生活が出来る程度の交通にすぎず、若い世代が共働きをしながら子育てをする助けには程遠いものになっております。 ブンブン号は駅に直結していましたが、かなり遠回りなルートで忙しい共働き世代には不向きなものでした。 近藤区長になり足立区は改善された点が多くあります。北千住・綾瀬・六町・竹ノ塚駅周辺は便利になり、若い世代が都内の物件の高騰もありこの足立区を選択して暮らしてくれるようになってきています。 しかし、一步離れた花畑のような地では不便さから高齢化が進む一方です。 20年前は保木間周辺に建売住宅が多く販売された時期でもあり花畑西小学校はクラス数も多い時期でした。現在の桜花小学校は区画整理での新築住宅の販売と重なりクラス数が増えているように思われます。20年前の花畑西小学校と桜花小学校が入れ替わった状況に感じております。 このままの状況で放置すれば、区の提案通り統廃合へ向かうしか無いのかもしれませんが。 そして、地域の高齢化は加速していく事でしょう。 花畑は緑や公園も多く子育てをするにはとても良い環境です。 今の国の政策も子育て世帯にお金を支給すれば良いと考えていらっしゃるようですが、働きながら子育てをする環境整備にもっと税金を投入し、安心して働ける環境を整える事が先決では無いでしょうか。
91②	花畑は団地が多い分世帯数の数も多いと考えられます。 若い世代がこの地を選択して暮らしてくれる様もっと積極的に考えて頂きたいと強く足立区へ要望いたします。 若い世代が生活してくれる事により環境だけでなく税収の面からも足立区にとって望ましいと思われます。 また、二世帯・三世帯同居や近隣に子世帯が暮らす高齢者のSNS推進は効率的に進む事も期待できます。 実際に親が80歳時に入院中タブレットでLINEやネットフリックスを利用したり、視野欠損の障がいを持つ親がアレクサを便利に使いこなすことができるのも、近くに子や孫がいるからこそです。 若い世帯が地域に与える影響は非常に大きいと思われますので、容易に学校統廃合することのない様お願いいたします。 若い方が住宅購入時の選定条件に学校が近いという項目も含まれていることを注視して頂きたいです。 今後策を講じたとしても、この状況が改善されず統廃合に至ってしまった場合には、地域交通をスクールバスと兼用できるような案も検討頂きたいと思います。

No	いただいた意見
	気象状況の変化も大きく子どもが30分も歩いて登校する事に健康面と安全面で不安を感じます。 スクールバスなどでICによる登下校情報を保護者に発信するなどして、働きながら安心して子育てできる街を目指してほしいと願っております。 私自身子どもには親のことは心配せず便利なところで暮らささいと言いつけておりますが、子どもたちが自らこの地に戻りたいと思ってくれるような花畑にしたい、なつてほしいと思いつけております。 今後も足立区全域がより良い生活を送れますようご尽力頂きたくお願い申し上げます。
92	学校の統廃合は反対です。 今、不登校の生徒の数が過去最高となっているのはなぜでしょうか？そして生徒を教える教師は過酷な仕事で心身共に病んでしまい、休職中の先生が後をたたないと聞きます。 先生も生徒も少人数の授業で「ゆとりのある楽しい授業」になれば、上記の問題が随分解消する事でしょう。 今の状態は国家的損失なので、少人数クラスの教育をする為に小中学校の統廃合は中止してください。
93	◎子どもの少子化対策として、従来の学級規模で競争に駆り立てる教育は古すぎます。将来のことを考えてクラスサイズを30人にして計算し、学校を潰さないでください。 ◎通学距離が遠くなり、交通事故の危険が高まります。 ◎地域の避難所が無くなり、災害時困ります。 学校統廃合をしないでください。
94	私の卒業した高校は廃校になりました。小中の仲間たちとは数年に一度集まります。帰り際に「学校に行ってみよう」が合言葉になっています。かつてのおもかげはありません。しかし、声もなくながめます。ほっとします。自分の学校があるということは大切です。 IT革命でいつのまにか集い話し合う機会が減ってきました。人間形成には、大切な分野です。その中で社会性も自治能力もつきます。 少人数の中でこそ、その力は充実します。機器でない教育を進めるためにも少人数で小さな学校を大切にしたいです。
95	・建物の更新＝統廃合ではない。築50年云々は理由にならない ・小規模校は子どもとの関係がよく、働く先生も楽しかったと聞く ・外国の学校では一クラス18人など少人数学級が普通であるという。少人数学級にしてはどうか ・学校選択自由化は学校間の競争が発生し、子どもに競争意識を与え、いい影響を与えないと思う

No	いただいた意見
	以上の点で、統廃合はしないほしい
96	子どもにとって学校は身近で大切な所です。 是非かんたんになくさないでください。 又、災害の時なども使用しますので地域にとっても大切な所です。 よろしくお願いいたします。
97	子どもの少子化対策として、従来の学級規模で競争に駆り立てる教育は古すぎます。 将来のことを考えてクラスサイズを３０人にして計算し、学校を潰さないでください。
98	学校統廃合は絶対反対です。避難所がなくなり、災害時困ります。
99	学校は地域の大切な財産です。ぜひ残してください。
100	学校をなくすな。
101	都市部の少子化の中で、行政はその効率のみ考えて、地域の小・中学校の統廃合をする。しかし、少し待ってほしい。このままでは、花畑・保木間には、子どもがいない地域になるのでは。現状でも、高齢者が多く、結婚しない中年が多い。年齢構成にバランスを欠く「限界」集落になりつつあるのでは。今後の教育、施設のあり方を立ち止まり「アガディミック」に話し合うべきである。
102	学校をつぶさないでください！ 子どもたちが輝く学校へ！統廃合で犠牲になるのは子どもたちです。 また、地域の拠点となる学校を減らすことは災害対策にも逆行します。 学校統廃合は行わないでください！
103	生徒たちが、自分の学校がなくなることが、子どもたちの悲しみになるし、小中学校を卒業した後、生徒たちが生徒の学校がなくなった。思い出がなくなる事を子どもたちの気持ちを聞いてほしい！！ 統廃合によって、子どもたちの不安とか？環境になれるまで、生徒の気持ちをしっかり考えてほしい。

No	いただいた意見
104	学校統廃合をしないでください。 地域の避難所がなくなり、災害時に困ります。
105	学校統廃合絶対にしないでください。
106	自分たちの学校がなくなれることを子どもたちに「どう思うか」聞いてください。 不可能ならば、地域それぞれの PTA 町会自治会の大人の声のききとりをお願いします。それが行政サービスの役割なのでは？
107	先日、見沼代親水公園駅を朝利用することがありました。竹ノ塚駅行のバスに乗り込む中学生を見かけました。理由は色々あるかも知れませんが、自宅近くの学校に通学し、放課後は地元の子どもたちと交友していた姿は、親子にとっても様々な利点（金銭面など）。 足立区は過疎地帯では決してありません。人口も微増なのではないでしょうか。 今ある学校を統廃合するのではなく、児童・生徒が近くの学校で学べるように、足立区内の住民環境を改善するとか、学校の規模を適正にし、近くの学校に通えるような改革にふみだすべきだと思います。学校によって、学校規模が違うから少ないところをつぶすなんて、もってのほかだと思います。学校規模に違いが出てきたのは、足立区のエデュケーション政策が大きくかかわっている気がしてなりません。 区民の声を取り入れてこそ、足立区の学校も給食だけでなく、子ども・親が安心できる教育環境をつくり出せると思います。
108	学校の統廃合はしないでください。 地域の避難場所として学校は大事です。災害時に困ります。
109	学校の（中・小）統廃合はしないでください。 地域から学校がなくなると地域のコミュニティがなくなる。 災害時もとても困ります。 助け合いの精神もきはくになります。 小人数学校を望みます。 先生がすべての子どもに目が届き、誰でもどの子も大切にする教育が学校を統廃合では生き生きとした教育は望めません。 宜しくお願いします。
110	子どもの少子化対策として、従来の学級規模で競争に駆り立てる教育は古すぎます。 将来のことを考えてクラスサイズを 25 人にして計算し、学校を潰さないでください。

No	いただいた意見
111	小さい学校をつぶして学校規模を大きくしていくことは、いじめや不登校に丁寧に取り組むことを困難にします。 少人数学級で「楽しい学校を！」「学校楽しいから休みたくない！」そんな学校にしてください。
112	学校の統廃合は止めて、小人数学級の運営をして、密度の濃い学級運営（先生にも生徒にも良い）に改善してください。
113	学校統廃合は、通学距離が遠くなり、子どもたちに大変な負担をかけます。 統廃合よりも、少人数学級をすすめる方が先ではないですか。
114	学校統廃合でなく、少人数学校でキメ細かい教育に進むべきです。 子どもが少ない今こそ質の高い教育をめざしてこそ基本的方針を立てることです。
115	学校を統廃合でなくさないでください。 少子化対策としても、クラス人数を少なくして、子ども1人1人にいきとどく教育をお願いします。 学校の先生を増やしてください。
116	学校統廃合をしないでください。 小さい学校の良さを生かしていじめ、不登校に丁寧に取り組むことができます。 外国と比較しても、日本の1クラス人数は多いです。きめこまやかな指導ができる少人数校を生かしてほしいです。
117	通学距離が遠くなり交通事故がとても心配です。 災害時困ります。とてもこまります。
118	学校統廃合をしないでください。 自分たちの学校がなくなることを子どもたちに「どう思うか」聞いてください。 小さい学校をつぶして学校規模を大きくしていくことは、いじめや不登校に丁寧に取り組む事を困難にします。 未来の日本を背負う子どもたちを大切に育てる為にも学校は大切な場所です。特に一人一人の子どもをていねいに教えるには小規模校が大事です。
119	通学距離が遠くなる子どもが増える事になると思います。 交通事故の危険、熱中症等不安が高まりますので統廃合しないでください。

No	いただいた意見
120	千住地域にはどんどん高層マンションが建つのに、学校は統廃合によって少ないままです。(私の子どもは小学校も中学校もなくなりました。) とても楽しく学んでいました。適正規模という数字は何を基準にしているのか。子どもの育ちを保证することを大事にしたら、非適切な数字だと言えます。早く少人数学級にしてください。子どもにとって大切な時間、豊かなていねいな教育をどの子にも受けさせてあげたい。 いじめ、不登校がなくならないことに何が原因か、何が変えなくてはならないことがあるのではないかと、大人は真剣に考えなくてはならないはずです。教員も心の病気になってしまう学校で、子どもが健やかに育つはずがない。 統廃合はただちにストップし、今ある学校を大切に、子どもを大切に、先生方を大切に、人を育てられる場所にしてください。
121	日本の将来を築く子どもたちの教育の場は一人ひとりの良さや特技を生かし、自己肯定感のもてる人へと育ててほしい、その為にも大きなクラスでなく、小さいサイズの学級クラスで、ていねいな教育を望みます。統廃合はあいません。しないでください。
122	私は元PTA会長を務めました。西新井小学校を卒業し、我が子3人も同小学校を卒業しました。おやじの会など作り、保護者同士の横のつながりを大事にしました。 学校は地域の要です。 地域の人たちと深く結びついている学校はどこもなくしてほしくありません。 77才の今も小学校の多目的室をお借りして、合唱団の練習もさせていただき、お世話になっています。学校には感謝しています。 年をとっても学校は地域の居場所として生きつづけてほしい。避難場所としても大切な場所です。足立区内の一枚でもなくしてほしくありません。 どうぞ考え直してください。
123	待機児が1,500人を超えている現状を考えれば、目が行き届き、一人ひとりの子どもに寄りそった教育環境の充実こそ必要。足立区の適正配置・適正規模は、結局小・中学校の大規模化を進めるためのものと思えない。 少子化を逆手に取り、小規模教室を進め、教育環境の改善を進めること。このことが、教師の働く環境の改善につながる。
124	親や子どもが納得いかないまま、学校統廃合はやめてください。 地域の拠点の役割、避難所の役割なくさないでください。
125	「適正規模・適正配置」というけれど、結局は小規模校つぶし。足立区も不登校が1,500人をこえ、過去最大だと聞きました。「切磋琢磨」といい、多数の中にうもれて、学校に行かれなくなる子どものことを考えてないと感じる。

No	いただいた意見
	小さな学校、家族的な学校があつてはいけないのか？何故小さな学校の否定を上から決めつけて押しつけるのか。 何故小さな学校の選択肢をつぶしてしまうのか。納得がいきません。 学校統廃合は行わないで、小さな学校も大切にしてください。 学校をへらして、地域の拠点・避難所をつぶすのはやめて、古くなった学校を単独で順次たてかえてください。
126	・学校統廃合をしないでください ・通学距離が遠くなり交通事故の危険が高まります ・地域の避難所がなくなり、災害時困ります
127	・子どもの少子化で、従来の学級規模では、将来の日本を担う大人は、指示、命令されないと行動できない人になります。 ・自分は何のために生まれ、何のために生きていくのかを考えられる学校教育が必要！ ・S28年生まれの私が学んだ小学校では2クラス。時間割、時間ごとのチャイムはなく、通知表がありませんでした。今でも同級生とは、遠く離れても年に数回は会うほど仲が良く、定年まで、いえ、その後も社会貢献している友が多くいます。 ・目の前の現状だけでなく、10年、50年先を見据えた計画を立ててください！
128	学校統廃合をしないでください。 通学距離が遠くなり、交通事故の危険が高まります。 地域の避難所がなくなり、災害時困ります。
129	パブリックコメント反対です。 通学距離が遠くなり交通事故が心配。
130	学校の統廃合をしないでください。 高野小学校が江北小学校が統廃合され、校庭は狭く、子どもたちがのびのび運動できなくなりました。 不登校の生徒が増えていると聞いています。 統合後、地域の避難所訓練は未だされず、災害がおきたら避難できない状況になっています。 足立区はもっと地域の人の声を聞いていただきたい。 子どものすこやかな成長を活かす方法で考えていただきたい。よろしくお願いします。

No	いただいた意見
131	学校統廃合をしないでください。 地域の避難所がなくなり、災害時に困ります。
132	区政は、区民のためのシステムである。一部の区民のためではありません。税の使い方も区民のために使うのでしょう。誰にでも理解できることです。 学校の統廃合について反対します。 未来の子どもたちのために「税」をどのように使っていくのかを考えた時、学校の統廃合ではなく、子どもひとりひとりに寄り添える学校づくりに（まず人材確保）進むべきです。 世の中の動きが益々不安を仰ぐようなことばかりです。 子どもたちの未来を保障するような税の使い道を考えてください。 ため込んだお金はみんなの税金です。 区民のために使うことを考えてください。 学校統廃合に突き進む前にゆっくり立ち止まって今、何が大事なのか考えませんか。
133	学校統廃合には反対です。 ①小学１年生でも歩いて通える範囲内に小学校はあるべきです。最近の異常気象は歩行者にとって厳しいものになってきています。今年６月の暑さでは成人健常人にとっても２０分も歩くとヘトヘトになりました。これを毎日子どもたちに強いることになります。 ②今子どもたちの成長にいろいろ課題があります。こんな時代だからこそ少人数学級でゆっくり学校生活を楽しみながら学べるようにしてあげたいですね。 世界では３０人以下学級があたりまえです。 ちなみに日本にある米軍基地内の小学校は２０人程度と聞いています。 ③災害時の避難場所として学校も大切な観点です。住民とりわけ高齢者の避難は近ければ近いほど安全です。 ④最後に歩道、車道の区別がはっきりしない道路事情の中ではなるべく通学距離を短くすべきです。
134	・統廃合による子どもの通学時間、距離などを考えてほしい。 ・学校施設は区民の財産であり、今後も必要になると思うので、現在のまま残してほしい。 ・災害時に必ず必要になると思う。今から準備しておくべき。

No	いただいた意見
	・少子化がすすむなら、不登校の子どもが多くなっている今日、小人数学級にすべきだと思う。
135	学校をへらさないでお願い。
136	「学校規模が小さい」とか「年少人口が減っている」とか（私にとっては）全く必要のない学校統廃合の理由を無理矢理探し出してないでしょうか。公立学校数こそ（主食糧必要最低量同様）現状通り必要最低箇所確保することが当然と考えます。
137	学校統廃合をしないでください。 子どもが犠牲になります。絶対反対です。
138	学校の統廃合に反対します。理由は以下のとおりです。 ・学校の規模が小さいほど一人一人に目が届き、皆をのばすことができます。 ・規模が小さいほど子ども一人の役割が増え、色々な経験をすることで、社会生活に必要なスキルを身につけることができます。 ・通学距離が長くなり、この間の異常な暑さによる子どもの健康への影響が心配です。交通事故の危険も高まります。
139	学校統廃合をしないでください。少人数学級の方が、子どもも先生も教育効果があり、幸せです。
140	私は足立区在住の保護者で、現在子どもを保育園に預けながらフルタイムで仕事しています。長時間の預かりでも保育園のおかげで安心して子どもを育てることができています。 小学校進学を考えると、足立区の公立小学校では学童の預かり時間が１８時までと短いことに頭を悩ませます。我が子の場合、民間のアフタースクールを利用する必要があり、経済的負担が大きくなります。 近年の私立小学校では放課後も課外教室が充実し、学ぶ姿勢を育みながら長時間の預かりが可能な学校が増えています。仕事と子育てを両立する家庭にとって、こうした環境は非常に魅力的です。足立区にもこうしたニーズに対応できる私立小学校を誘致していただきたいです。
141	足立区立鹿浜菜の花中学校に通わせてる中学生がいる父兄です。 近隣の中学校では、職場体験が、実際の店舗などに行って体験できるのに、菜の花中学では、外に体験できず、学校内での体験でした。 とても不公平だと思いますので、改善をお願いします。

No	いただいた意見
142	小中学校の統廃合は問題で反対です。 統合されれば、当然学校の規模は大きくなり、教育的に見てもマイナスです。 小規模校の方が教員も子どもたちを丁寧に教育できる。 統合されれば、通学路が遠くなり、低学年の子どもたちで交通事故も心配です。 規模が大きくなれば、いじめや不登校の子どもが増える原因にもなります。 統廃合により、地域の避難場所である学校がなくなり心配です。 学校の建て替えでお金がかかるから学校を潰すなんて駄目です。 足立区には、1,800億以上の積立て金があるのだから教育にもっとお金を使うべきです。 学校間で子どもの人数に差があるのは、学校選択自由化があるからです。
143	子どもたちのためによりよい教育環境を整えていくことはとても重要だと思います。しかし、統廃合がそのための最善策、良い方法とはとても思えません。 小さい学校だからこそできることもありますし、統廃合で規模が大きくなることでゆきとどかなくなることがたくさんあるとも感じています。学級や学校の人数が多くなりすぎることで、いじめや不登校へのていねいな取り組みがしにくくなってしまうことも考えられます。 統廃合という形でなく、老朽化した学校施設の改修、改善されることを望みます。 地域と学校とのつながりも大切にされてきました。避難所やよりどころとしての学校がなくなっていくことにより「学校がなくなってしまう」と感じる子どもたちや地域の方たちの気持ちを心配しています。
144	統廃合やめてください。 子ども少なくなるから、潰す、いけません。統合されてぎゅうぎゅう詰めより、ゆったりの中で授業をうけられることは子どもにとっても先生にとってもいいことだと思います。 私は「分校」といわれる所で過ごしました。縦割りの取り組みもあり、子ども同士のかかわりも育ちます。授業もゆったり少人数になることは悪いことではありません。 軍隊では一人の隊長がみられるのは20人と聞きました。 小学校も30人といわず、20人学級にしてください。

No	いただいた意見
145	足立区の学校に勤めてから、多くの小・中学校を経験してきました。その中には、小規模校で統廃合した方がいいと言われた学校もありました。 しかし、今、振り返ってみますと、小規模校では運動会等で生徒たちが力を合わせて、感動的な行事にしていた経験を目にしてきました。やる気を精一杯に発揮していった経験は素晴らしいものでした。 野球ができないからとか、部分的なことで生徒の力を押さえつけないでほしい。 統廃合は止めてほしい。
146	築年数50年を経ると、どうして統廃合の対象になるのでしょうか。 年少人口の減少を理由にしていますが、大きな道路を渡って、遠距離を歩かせるのはいかなものか。 足立区は予算の乏しい自治体ではないのだから、効率だけを重視して生徒の安全や負担を軽視しているように思う。一考を。
147	足立区の子どもたちのために御尽力くださり、心より感謝致しております。 この度のガイドラインでは、花畑地区の小中学校5校が前回から引き続き取り組むエリアとのことです。 花畑は、文教大学ができたり、交通不便解消のため、地域交通の充実をはかる努力などをして、住みやすい街づくりを目指しています。 学校は文化的にも地域の中心的存在であり、災害時には避難場所として頼りになるところです。 また、学校を減らした場合、必然的に通学距離が長くなります。 花畑八丁目からの通学は、特に道路幅が狭く危険なところが多く、注意が必要です。 さらに、生コン工場があるため、大型車の頻繁な通行にも注意しなければなりません。 統廃合については、地域の状況を鑑みて、ぜひ再考していただきますようお願いいたします。
148	・学校統廃合しないでください。 ・小さい学校をつぶして学校規模を大きくすることは、いじめや不登校に丁寧に取り組むことを困難にします。 ・外国の学校では、小さいサイズの学級・学校が標準で丁寧に教えてもらっています。 ・学校の建て替えでお金がかかるから学校をつぶすなんて子どもが犠牲になっています。 どうぞよろしくお願いいたします。
149	私は、足立区内の中中学校数校に在職し、その間、自分の在職校および学区域内の小学校の統廃合を経験してきました。その経験から足立区の適正配置・適正規模ガイドラインについての意見を申し上げます。

No	いただいた意見
	1. 学校統廃合は、子どもたちの教育の場であり、そこでの主人公である子どもたちの意見を聞く姿勢が無く、教育委員会の一方的な計画で行われていることです。「子どもの権利条約」では、子どもの意見表明の権利を保障していますが、「統廃合」の影響を一番受けることになる子どもたちの意見をまず始めに聞くべきです。 2. 地域の学校は子どもたちの学ぶ場であるとともに、その地域の様々なセンター的役割を持っています。例えばほとんどの学校が災害時の緊急避難場所とされており、必要な施設が設置されたり、物品の備蓄もされています。統廃合により学校が廃校されると、その地域の住民の避難場所が遠くなってしまいます。 その他にも学校の校庭や教室などの施設は、色々な形で地域の住民に活用されており、そうした面で住民が不便になることになります。 3. 「ガイドライン」では、対象となるエリア内に「小規模校」と「適正規模校」が存在しています。「小規模校」と「適正規模校」という区分けの仕方にも疑問が有りますが、そのどちらも2で挙げたような役割を果たしています。 子どもたちにとっても、どちらのタイプの学校にも長所があり課題もあります。多人数の中で力を発揮できる子もいれば、少人数の中でじっくり落ち着いて学習できる子もいます。教育行政の役割は、どちらのタイプの学校もその長所を活かした教育ができ、そのもとで子どもが生き生きと学べる条件を提供することではないでしょうか。「小規模校」の課題だけを強調して規模を大きくするというのでは、「小規模校」で学びたい子ども、学ばせたい保護者の選択する権利を奪うことになるのではないのでしょうか。 4. 不動産会社の宣伝を見ると、「◇◇小学校から何分、◆◆中学校から何分」というような文面を見かけます。学校の存在はその地域に生活しようとする人にとって、重要な要素であることを示しています。 こうした「ガイドライン」を発表して「学校がなくなるかもしれない」という危惧を抱かせたのでは、その地域の振興に背を向けることになるのではないのでしょうか。 5. 結局「ガイドライン」の目的は、学校施設の更新数をできるだけ減らし、そのための予算を少なく抑えたいというのが本当のところとされます。足立区は全校で1・2を争うほどの「資金」をため込んでいるようですが、未来の足立区を担う子どもたちの為に使ったら、足立区の未来に希望を持ち、住んでみたいという人も増えるのではないのでしょうか。 6. 「適正配置・適正規模ガイドライン」については、多くの地域住民や子どもたちに知られていません。こうした大切な問題を十分周知せず、僅かひと月余りのパブコメで方向を決めるのは乱暴です。地域住民や子どもたちに十分知らせた上で、時間をとって議論すべきと考えます。